

ならエコファーマー通信

奈良県エコファーマー連絡会

第12号

環境保全型農業推進研修会を開催しました

平成25年2月22日(金)、橿原市の農業交流館にて、環境保全型農業推進研修会を開催しました。エコファーマーをはじめ、環境保全型農業に関心のある農業者、市町村、JA、県関係機関等の約80名に参加いただき盛会となりました。



基調講演 講師 大野 和朗 准教授

はじめに、宮崎大学農学部の大野和朗准教授より「地域の天敵資源を活用した環境と人にやさしい農業」と題してご講演いただきました。

農業において、環境への負荷と人の健康に対するリスクを減らすために、化学農薬のみに頼らず、輪作・抵抗性品種の導入や土着天敵等の生態系が有する機能を活用したIPM(総合的病害虫・雑草管理)の実践が進められています。土着天敵を活用する技術として、選択的農薬の使用や、天敵が必要とする花粉・花蜜や越冬場所などを供給する「インセクタリアプラント(天敵温存植物)」の植栽による効果について、研究成果・現地事例を交えながら具体的にご説明いただきました。

奈良県では、露地ナスのほ場周辺にフレンチマリーゴールドを植栽し、天敵のヒメハナカメムシ類を増加・温存し、害虫のミナミキイロアザミウマを抑制する取組が行われています。



質疑応答

次に、県農業総合センター茶業振興センター宮本大輔総括研究員より「成分調整ペレット堆肥の開発と茶栽培における利用」と題して、研究報告がありました。茶栽培における土づくりを進めるため、地域の畜産農家が生産するたい肥を有効に活用し、たい肥に含まれる肥料成分を調整するため油かすなどの肥料を添加混合、散布しやすいようペレット化した「成分調整ペレットたい肥」の開発と施用試験結果について説明いただきました。

当日欠席された方で、研修会の資料を希望される場合は、事務局までご連絡下さい。



研究報告 農業総合センター 宮本総括研究員

「第2回エコファーマー体験ツアー」を開催しました

平成24年11月23日(祝)、五條市・下市町を会場に消費者交流会を開催、28名の消費者にご参加いただきました。

菊井果樹園のログハウスに集合、開会挨拶、エコファーマー制度についての概要説明の後、マイクロバスで菊井新昭さんの柿園を訪問しました。



開会挨拶

菊井さんの柿園では、土づくりにこだわった環境にやさしい果樹づくりについて説明いただき、柿の収穫体験を行いました。

収穫体験後は、あんぽ柿加工施設の見学、柿・あんぽ柿など加工品の試食を行い、希望者に自家製たい肥「ダイズユーキ」の試供品をプレゼントしていただきました。



菊井
果樹園訪問



続いて、五條市の梨子本亘希さんのりんご園を訪問しました。黄色蛍光灯による虫害の防除の工夫、奈良県の気候を活かしたりんご栽培、食べごろのりんごの見分け方について説明いただき、試食と収穫体験を行いました。

また、梨子本果樹園主催のフォトコンテストが行われ、参加者は美しいりんご園の風景をこぞって撮影されていました。



梨子本
果樹園訪問



小雨がばらつく寒い日でしたが、霞がかかる紅葉の美しい果樹園で楽しくエコファーマーの農業に親しんでいただけました。

参加者の声 (アンケートから)

- 奈良の農家の方がこんながんばっておられるのを見て、とてもうれしくなりました。安全・安心を大切にされているのを見て、これからエコファーマーの農産物を買いたいと思います。
- エコファーマーの努力の一端をうかがいました。エコファーマーが作る作物が多くなればと思います。
- 自然の中でいろいろ体験させて頂きありがとうございました。まわり一面柿園というのは初めての眺めでいまだに目に焼きついています。
- 柿・りんごを収穫するのがはじめてだったので良かった。柿もりんごもとっても甘かったです。

TOPICS

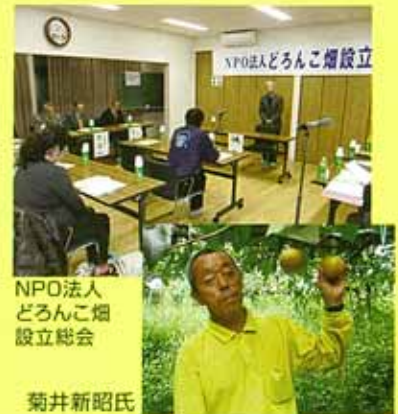
第18回環境保全型農業推進コンクール

菊井果樹園(下市町) 奨励賞受賞!

環境保全型農業において経営や技術の改善に取り組み地域社会の発展に貢献している農業者・団体を表彰する標記コンクールにおいて、奈良県より「菊井果樹園」(菊井新昭氏、下市町)が奨励賞を受賞されました。

長年、梅の有機栽培、柿・梨の化学肥料・化学合成農薬低減栽培を実践されるとともに、地域のバイオマスを活用した堆肥「ダイズユーキ」の製造、農産加工等6次産業化の取組、NPO法人「どろんこ畑」における農業分野での障がい者の就業支援の取組が評価されたものです。

受賞概要は、全国環境保全型農業推進会議のホームページをご覧ください。
(<http://www.ecofarm-net.jp/O4contest/index.html>)



NPO法人
どろんこ畑
設立総会

菊井新昭氏

全国エコファーマーネットワークのシンボルマークができました

「全国エコファーマーネットワーク」とは、全国のエコファーマーが連携し、技術向上や消費者等への情報発信等推進している組織です。

(事務局:一般財団法人 日本土壤協会)

このたび、全国エコファーマーネットワークの認知度を高めるため、右記のシンボルマークを作成されました。

このシンボルマークは、全国エコファーマーネットワークに加入した会員(個人会員年会費3,000円)が、申請書を提出し使用できるものです。

本シンボルマークの使用や全国エコファーマーネットワークへの加入について、詳しくは日本土壤協会におたずねください。

全国エコファーマーネットワーク事務局 一般財団法人 日本土壤協会
電話 03-3292-7281 ホームページ<http://www.eco-farmer.net/>



全国エコファーマーネットワーク

施策情報



平成25年度 環境保全型農業直接支援対策

環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者に対して支援を行う「環境保全型農業直接支援対策」の概要をご紹介します。本対策の詳しい内容や要件等については、各農林振興事務所又は市町村におたずねいただくか、下記ホームページをご覧ください。

支援概要 ※詳しい要件等は別途ご確認下さい

○支援対象者

次の(1)及び(2)の要件を満たす販売を目的として生産を行う農業者、集落営農等農業者グループ

- (1)原則としてエコファーマー認定を受けていること
- (2)農業環境規範に基づく点検を行っていること

○支援の水準 (取組内容ごとに単価設定)

3,000~8,000円/10a (国と地方の合計)

(※全国の申請額が国の予算を上回った場合、減額されることがあります。)

○支援対象農地

農業振興地域内または生産緑地地区内の農地

※関連ホームページ

[対策全般に関すること] 農林水産省HP http://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/hozen_type/index.html

[地域特認取組に関すること] 奈良県農業水産振興課HP <http://www.pref.nara.jp/27388.htm>

○支援の対象となる取組(いずれかの取組で可)

- (1)化学肥料と化学合成農薬の原則5割以上低減とセットで行う①または②の取組
 - ①カバークロップ
 - ②炭素貯留効果の高い堆肥の水質保全に資する施用
- (2)有機農業の取組
- (3)地域特認取組(奈良県限定)
 - 化学肥料と化学合成農薬の原則5割以上低減とセットで行う①~③のいずれかの取組
 - ①総合的病害虫・雑草管理(IPM)と組み合わせた交信攪乱剤の導入(梨・柿)
 - ②インセクターリープラント(バンカープランツ)の導入(露地ナス)
 - ③草生栽培(果樹・茶)

※各対象取組には要件が定められています

地域でがんばる! エコファーマー

わくわくECO部会 (宇陀市・3名、認定番号613、634、746号)
認定作物:ほうれんそう、こまつな、レタス、米等

「わくわくECO部会」は、宇陀市の農産物直売所「大和高原わくわく宇陀いち」に出荷するエコファーマーによる生産部会です。消費者の方々に安全・安心な農産物を届けたい、県内・近隣県を流れる川の上流である宇陀市の環境を守りたいという思いでエコファーマーに認定、直売所を核に連携してPR、技術の向上を図ろうと部会を結成されました。会員は、会長の藤田貢さん、多田善英さん、堂本源逸さんの3名です。

自家製の米ぬかぼかしの使用により化学肥料を低減、施設栽培での防虫ネットの利用や水稻の温湯種子消毒の導入等により化学合成農薬の低減に取り組まれています。

「わくわくECO部会」では、地域のエコファーマーの輪を広げていくため、宇陀市や周辺地域のエコファーマーの加入を募集中です。

「直売所『大和高原わくわく宇陀いち』では、エコファーマーをはじめ地域農家の思いが詰まった農産物を販売しています。ぜひ一度お越しください。」と消費者の皆さんへのメッセージをいただきました。



大和高原わくわく宇陀いち

■住所: 〒633-0253 宇陀市榛原萩原1263-6

■TEL: 0745-82-6518 ■FAX: 0745-82-6518

奈良県持続的農業導入指針の改正について

平成25年3月11日付けで、エコファーマー計画の作成に際する県の指針である「奈良県持続的農業導入指針」を改正しました。改正点は、「あずき」、「ズッキーニ」、「とうがん」、「未成熟しかくまめ」、「いら」、「しそ」、「なばな」、「つるむらさき」、「こんにゃく」の追加等です。

各品目の指針の内容は、奈良県のホームページをご覧ください。県農業水産振興課又は各農林振興事務所におたずねください。(県ホームページ<http://www.pref.nara.jp/16238.htm>)

エコファーマーの認定期限にご注意!

平成25年度(平成25年4月～平成26年3月末)は、**認定番号69～108・120号(2回目の認定期間が終了)、604～616号**の方が、エコファーマーの目標年度(5年目)をむかえられます。認定期間は認定した日から5年間となり、認定期限はそれぞれの方で異なりますので、ご自身の認定書をご確認ください。

認定終了時には、実施状況報告書の提出が必要です。また、計画の更新(再認定)には、土壌診断を行い、新たな計画策定が必要ですので、お早めに各農林振興事務所におたずねください。

編集
後記



今回の「地域でがんばる!エコファーマー」は、丸一浩会長に取材いただきました。このコーナーへの掲載のご希望、ご意見や記事の投稿をお待ちしています。連絡会活動へのご意見もお寄せ下さい。

発行 **奈良県エコファーマー連絡会**

(事務局 奈良県農業水産振興課環境係)

〒630-8501 奈良県奈良市登大路町30 TEL0742-27-7442 FAX0742-22-9521

平成25年3月発行